

Ⅳ 研究活動

農場では、教員と技術職員が一体となってフィールド農学に関わる様々な研究および技術開発を推進している。また、農場は、フィールド農学の研究施設として、学部教員あるいは学部学生や大学院生の研究に広く活用され、その成果は分子生物学から農業現場直結型まで広い範囲に亘っている。

1 研究課題

1) 農場の研究課題

- ・ヤムイモの品種特性に関する研究
- ・ヤムイモの耐乾性に関する研究
- ・ヤムイモ、ウコン類の繁殖および地下部肥大に関する研究・液肥がサツマイモの生育に及ぼす影響
(遠城教授との共同研究)
- ・パッションフルーツの果実品質に関する研究 (遠城教授との共同研究)
- ・ケナフおよびロゼル栽培により種子、繊維を収穫 (比較環境農学：志水教授との共同研究)
- ・サトウキビの栽培に関する研究
- ・ヤムイモおよびキャッサバの遺伝資源保存
- ・ロゼルの栽培研究
- ・パッションフルーツの機能性成分に関する研究
- ・黒毛和種の親子放牧による子牛の生産に関する研究
- ・胎児期の栄養制限が黒毛和種子牛の代謝に及ぼす影響
- ・乳母牛による強化哺乳に関する研究

2) 農場施設を利用した学部研究室の研究課題

(1) 学内農場農事部圃場を利用した研究課題

(作物学研究室)

- ・カンショの栽培法、生産性および品質に関する研究
- ・水稻の栽培環境反応に関する研究
- ・水稻の生育診断技術に関する研究 (環境情報システム学研究室との共同研究)

(熱帯作物学研究室)

- ・サトウキビおよびトウガラシの栽培技術
- ・アフリカ等稲の成育比較

(比較環境農学研究室)

- ・ケナフ栽培による種子、繊維の収穫や実習で行う紙すき材料の確保
- ・サボテン (ウチワサボテン、柱サボテンなど) を栽培し、鹿児島市での適用性を検討する。
- ・ロゼル栽培研究
- ・寝太郎スイカの栽培研究
- ・伝統野菜種子の採取

(植物育種学研究室)

- ・水稻の農業形質、生殖隔離、耐病性に関する遺伝分析 (先端科学研究推進センター：田浦教授との共同研究)
- ・アワの形態調査と品種保存
- ・ヤムイモ、ダイズとカンゾウの多様性に関する遺伝的研究・サトウキビの糖蓄積に関する品種間差異 (附属農場：遠城教授、朴准教授との共同研究)

(果樹園芸学研究室)

- ・ボンカン、アボカド、ブルーベリー、実験材料の栽培
- ・タンカン、ボンカン、レイシ、モモ台木の栽培試験
- ・マスカディンブドウの保存

(蔬菜園芸学研究室)

- ・桜島ダイコンに関する研究
- ・ヤムイモ・ウコン類の繁殖および地下部肥大に関する研究 (農場：遠城教授、朴准教授との共同研究)
- ・パッションフルーツの果実品質に関する研究 (農場：朴准教授との共同研究)

(観賞園芸学研究室)

- ・ツバキ属植物の系統発生並びに新花色の育種
- ・ツバキ属植物の花色遺伝（共同研究）
- ・トルコギキョウの新花色の育種
- ・トルコギキョウの花形・花色の育種と切り花生産
(害虫学研究室)
- ・昆虫ウイルスによるチャノホソガの防除
- ・露地野菜における土着天敵を利用した害虫防除体系の確立
- ・野菜に発生するハダニ類およびそれらの天敵の生態
(家畜管理学研究室)
- ・地域未利用資源の飼料化に関する研究：サイレージ調製および消化・代謝試験, 嗜好試験など
- ・自給飼料による舎飼いヤギの飼養体系確立に向けた研究
(土壌科学研究室)
- ・土壌・植物根圏における揮発性有機化合物（VOC）の網羅的解析による微生物群集の評価
(植物栄養・肥料学研究室)
- ・各種研究用遺伝資源の維持・保存のための作物栽培
- ・降雨に含まれる微量成分（過塩素酸等）の含有濃度の把握
(焼酎製造学研究室)
- ・発酵食品製造実習におけるサツマイモの苗床
(農業環境システム学研究室)
- ・環境保全型雑草制御に関する研究
(環境情報システム学研究室)
- ・水稻の生育診断技術に関する研究
 - 1) トイドローンによる連続生育監視システムの開発
 - 2) イネ生育環境の観測およびモデル評価
(遺伝子実験施設)
- ・ワールドイネコレクションの栽培実験
- ・アジア産イネの形質調査と品種保存

(2) 唐湊果樹園を利用した研究課題

(果樹園芸学研究室)

- ・鹿児島在来カンキツの特性解明と利用に関する研究
- ・カンキツ類の進化および種分化に関する研究
- ・高品質カンキツ果実生産の条件解明
- ・アセロラの栽培・育種技術の改良
- ・アボカド品種の特性解明
- ・鹿児島県におけるアーモンドの生育特性の調査
- ・中間台木‘ひめこなつ’に高接ぎした少低温要求性モモ品種‘KU-PP1’および‘KU-PP2’の生育に関する研究並びに既存品種との比較試験
- ・少低温要求性モモ品種の生育特性の解明

(3) 指宿植物試験場を利用した研究課題

(果樹園芸学研究室)

- ・アセロラの栽培・育種技術の改良
- ・南九州におけるマンゴーの生育特性に関する研究
- ・ライチの品種特定に関する研究

(森林保護学)

- ・クサトバラにおける種子散布に関わる果実二型の遺伝様式の解明
(南西島弧地震火山研究所)
- ・阿多カルデラ西部における地震活動の研究

(4) 入来牧場を利用した研究課題

(家畜繁殖学研究室)

- ・家畜の繁殖生理・人工繁殖と遺伝子改変家畜作出の研究
(家畜管理学研究室)
- ・山羊放牧による草地の植生管理
- ・シカ出現状況に関する調査
- ・未利用資源の家畜飼料化利用を目指した研究
(獣医繁殖学)
- ・パルスオキシメーターを用いた呼吸器機能評価法の検討

(5) 学内農場畜産部を利用した研究課題

- (家畜繁殖学研究室)
 - ・家畜の繁殖生理・人工繁殖と遺伝子改変家畜作出に関する研究
(家畜育種学研究室)
 - ・家畜・家禽に関する遺伝育種学的研究
(家畜管理学研究室)
 - ・家畜の行動管理に関する研究
 - ・未利用資源の飼料化に関する研究
(栄養生化学・飼料化学研究室)
 - ・脂質代謝改善効果を持つ機能性食品の研究
 - ・腸内環境の改善効果を持つ機能性食品の研究
 - ・未利用資源の家畜飼料化利用を目指した研究

2 研究成果

1) 農場 (2022)

- (1) 論文
- (2) 口頭・ポスター発表
- (3) 著書
- (4) 報告書
- (5) 商業誌
- (6) 特許
- (7) 博士論文
- (8) 修士論文
- (9) 卒業論文

2) 農場を利用した研究成果 (2022年1月～12月)

(1) 論文

- Katsuyoshi SHIMIZU, Sherif M. A. BASSIOUNI, and Bassiouni A. ZAYED and Weidong CAO, 2022, Effects of Saline Conditions on Germination Percentages and Photosynthetic rates of Egyptian Salt-tolerant Rice Varieties, *Journal of Arid Land Studies*, 31,77-83.
- Ichitani K, Toyomoto D, Uemura M, Monda K, Ichikawa M, Henry R, Sato T, Taura S, Ishikawa R. 2022. New hybrid spikelet sterility gene found in interspecific cross between *Oryza sativa* and *O. meridionalis* *Plants* 11 (3) :378.
- Shah S, Tsuneyoshi H, Ichitani K, Taura S, 2022, QTL analysis revealed one major genetic factor inhibiting lesion elongation by bacterial blight (*Xanthomonas oryzae* pv. *oryzae*) from a japonica cultivar Koshihikari in rice *Plants*, 11 (7) :867.
- 島田温史・香西直子・山本雅史. 2022. 種々の方法によるアボカドの耐寒性評価. *熱帯農業研究* 15 (2) : 95-100.
- Shimada, A., Yang, X., Kozai, N., Yamamoto, M. 2022. The effects of high temperature on the chlorophyll fluorescence in

- avocado (*Persea americana* Mill.) cultivars. *Tropical Agriculture and Development* 66 (3) : 110–112.
- Yamamoto, M., Tani, K., Kozai, N. 2022. Shiikuwasha (*Citrus depressa* Hayata) grown on Yakushima and Kuroshima, Kagoshima Prefecture. *Tropical Agriculture and Development* 66 (2) 73-76.
- 山本雅史・勘米良祥多・西澤 優・上野海晴・青木仁史・谷野孝徳・香西直子. 2022. アセロラ栽培における高電圧パルスによるネコブセンチュウ防除の可能性. 鹿児島大学農学部附属農場研究報告 43 : 1-4.
- 中西良孝, 満尾友莉杏, 高山耕二, 大島一郎, 山内正仁. 2022. 発酵バガス主体培地のアラゲキクラゲ廃菌床の繊維成分の消化性. *日本暖地畜産学会報*, 65 : 33-36.
- 中西良孝, 鶴 由璃子, 久富紫音, 中村南美子, 奥津果優, 高山耕二, 大島一郎, 菊地早織, 板垣亨哉. 2022. ウィスキー粕を活用した肥育牛向け発酵 TMR の品質と栄養価, *日本暖地畜産学会報*, 65 : 93-100.
- 中西良孝, 野島舞葉, 久富紫音, 中村南美子, 高山耕二, 大島一郎, 園田寛人, 山内正仁. 2022. 異なるアブラヤシ副産物 (空果房または樹幹) 主体培地由来のキノコ廃菌床を含む発酵 TMR の品質と肉用牛による嗜好性. *日本暖地畜産学会報*, 65 : 101-107.
- 高山耕二, 山植珠翠, 中村南美子, 加藤達也, 大塚弘文, 小田川裕之, 中西良孝, 松添直隆. 2022. 水田における小型球体ロボットの除草能力. *鹿児島大学農学部学術報告*, 72 : 1-6 .
- 高山耕二, 小出圭史, 中村南美子, 鈴木真理子, 河合 溪, 秋山雅世, 赤井克己, 中西良孝. 2022. カイウサギの侵入防止に有効な電線の架線の高さは? *日本暖地畜産学会報*, 65 : 37-40.
- 中村南美子, 石川健斗, 秋山雅世, 赤井克己, 大島一郎, 中西良孝, 高山耕二. 2022. 電気柵へのシカ通り抜け防止効果向上のためにネット柵の併用は有効か? *日本暖地畜産学会報*, 65 : 25-32.
- 中村南美子, 富永 輝, 石井大介, 飯盛 葵, 松元里志, 稲留陽尉, 塩谷克典, 赤井克己, 大島一郎, 中西良孝, 高山耕二. 2022. 電気およびネット併用柵設置による草地へのシカ侵入防止効果. *有機農業研究*, 14 (1) : 52-62.
- 中村南美子, 小澤優作, 富永 輝, 石井大介, 飯盛 葵, 松元里志, 稲留陽尉, 塩谷克典, 赤井克己, 大島一郎, 中西良孝, 高山耕二. 2022. 5段張り電気柵への通電の有無が飼育シカの侵入防止効果に及ぼす影響. *有機農業研究*, 14 (1) : 73-80.

(2) 口頭・ポスター発表

- 志水勝好・東 弘菜・一谷勝之, 2022, ボタンボウフウの鹿児島県における分布に関する研究 2. 種子島, 沖永良部島および加計呂麻島における分布, 日本熱帯農業学会第129回講演会
- 宇田津徹朗・石川隆二・一谷勝之・志水勝好, 2022, 野生イネの生産量推定に関する基礎的研究 (I), 日本文化財科学会第39回大会
- 志水勝好・高瀬高歩 鹿児島島嶼部におけるサトウキビ塩害の作用機作に関する研究 2022年9月21日 日本作物学会第254回講演会
- 梶山 萌・勘米良祥多・志水勝好, 2022, 鹿児島でのカカオ栽培に関する研究 1. 開花と受粉, 日本熱帯農業学会第132回講演会
- 宇田津徹朗・石川隆二・一谷勝之・志水勝好, 2022, 野生イネの生産量推定に関する基礎的研究 (I), 日本文化財科学会第39回大会
- 仲村 洋輔・一谷 勝之・Shenton Matthew・田中 伸裕・久保山 勉, 2022, 世界イネコアコレクションと台中 65号の雑種における初期生育ヘテロシスの検討, 日本育種学会第142回講演会
- 高橋龍成・加藤神成流・前田幸暉浩・柴田雪花・湯山祐樹・田浦悟・一谷勝之, 2022, イオンビーム照射によって誘発されたイネ白葉枯病新規抵抗性系統の白葉枯病菌複数レースに対する反応, 第17回九州育種談話会
- 柴田雪花・高橋龍成・前田幸暉浩・田浦悟・石川隆二・久保山勉・一谷勝之, 2022, イオンビーム照射で誘発される突然変異とゲノム情報を利用したイネ雑種弱勢原因遺伝子の特定に向けて
第17回九州育種談話会
- 山本雅史・伊東孝俊. 2022. 多胚性カンキツの胚数およびその雑種実生出現. 日本熱帯農業学会第132回講演会.
- 宇都量子・香西直子・山本雅史. 2022. アボカドの挿し木において種々の処理が発根に及ぼす影響. 日本熱帯農業学会第132回講演会.
- 香西直子・叶 和幸・山本雅史. 2022. 開花期の気温がアボカド' ベーコン' の開花期および花粉発芽に及ぼす影響. 日本熱帯農業学会第132回講演会.
- 山本雅史. 2022. シクワサー (*Citrus depressa* Hayata) の自家および交雑不和合性. 園芸学会令和4年度秋季大会.
- 丸亀穂佳・庄司里穂・山本雅史・古藤田信博. 2022. 南西諸島在来カンキツに蓄積する機能性成分に関する研究. 園芸学会令和4年度秋季大会.

- 山本雅史・谷 佳那美・香西直子. 2022. 鹿児島県黒島の在来カンキツ. 日本熱帯農業学会第131回講演会.
 倉橋美月・坂巻祥孝・津田勝男. 2022. 南九州のツマジロクサヨトウから分離された緑きょう病菌の病原性、オンライン、2022年2月7日～14日九州病害虫
 樗木直也・鬼塚大雅・赤木 功. 2022. 下水処理水を利用した水耕栽培による低カリウム果菜類栽培の試み. 日本土壌肥料学会2022年度東京大会.
 赤木 功・長田萌里・森 真由美・樗木直也. 2022. 湛水条件下における土壌ヨウ素の可溶化とその溶脱. 環境化学物質3学会合同大会（環境化学討論会）.

(3) 著書

- 志水勝好. 2022. 5.4 繊維料作物, 5.5 油料作物, 志和地・遠城編, 『熱帯作物学』, 朝倉書店, pp.160-167.

(4) 報告書

(5) 商業誌

(6) 特許

(7) 博士論文

- 中村南美子. 2023. シカの視覚特性を利用した草地への侵入防止に関する研究

(8) 修士論文

- 有田聖矢. 2022. 鹿児島在来カンキツにおける四倍体作出.
 高松寛朗. 2022. 土壌水分条件の違いがアーモンドの樹体生育に及ぼす影響.
 福田和俊. 2022. カンキツにおいて結実条件および施肥管理が果実の生産性・品質に及ぼす影響.

(9) 卒業論文

- 太田千乃. 2022. 鹿児島県におけるライチ在来系統の特性調査.
 岸 星良. 2022. シクワサー類の多様性および類縁関係の解明.
 寺田早紀. 2022. アセロラの組織培養における好適条件の解明.
 福崎爽香. 2022. 細葉酸味系アセロラの腋芽培養における効率的な増殖法の開発とアセロラ種間雑種の DNA 分析.
 高崎 蒼. 2022. ケナフによる地球温暖化抑制に関する研究 - 栽植密度が CO₂ 固定量に及ぼす影響と深海および桜島溶岩実験地での CO₂ 貯蔵の可能性 -
 橋口浩志. 2022. ウケユリとタモトユリの絶滅防止・保護に関する研究 - 異なる環境が仔球再生と鱗茎の生育に及ぼす影響 -
 牧原圭吾. 2022. 除草利用を目的とした小型移動式鶏舎の開発
 齋藤明日香. 2022. 奄美大島におけるノヤギの効率的捕獲に向けた行動学的研究
 神田梨華. 2022. 有機チャ園における新芽害虫と天敵に対する蒸気防除の影響
 倉橋美月. 2022. 南九州のツマジロクサヨトウから分離された緑きょう病菌の病原性
 小林太樹. 2022. チャ圃場におけるチャノホソガの天敵となるクモ類の胃内容物分析
 花木龍雲. 2022. ニジュウヤホシテントウの捕食によって捕食性クチブトカメムシ類が受ける影響の評価
 グエン・ティン・フォン. 2022. チャ園における蒸気防除がチャノミドリヒメヨコバイに与える影響の検証
 永里天識. 2022. 露地ナス圃場におけるミツユビナミハダニの防除のための天敵涵養植物の評価 - ローゼルと丸オクラの比較 -
 米山真鈴. 2022. 鹿児島在来ナス品種と市販品種の品種別の圃場抵抗性と病害虫被害
 村山周. 2022. 露地ナス圃場におけるハスモンヨトウに対しての真正クモ類の生物的防除素材としての評価
 太田しゅう. 2022年、前方障害物の認識に関わるシカの視野は？
 木下映絵. 2022年、反芻家畜のための伝統野菜「桜島大根」副産物の飼料化に関する研究
 久富紫音. 2022年、キノコ廃菌床を含む発酵 TMR の品質と嗜好性に及ぼす各種添加物の影響
 山植珠翠. 2022年、小型球体ロボットによる水田での除草効果は？～アイガモ雛との比較からその効果を解き明かす～
 小方麻記子. 2021. 鹿児島県におけるエريانサス栽培に関する土壌肥料学的研究

鬼塚大雅. 2021. 下水処理水を用いた水耕栽培による低カリウム果菜類の栽培
 高橋 葵. 2021. 指宿植物試験場で栽培されるセルリーの無機成分の特徴

3 研究助成

人工光閉鎖型育苗装置「エコナーセリー®」を活用したオフシーズンにおける温帯性作物の栽培技術の開発 (2021-2023). 株式会社エルム, 共同研究. (代表: 遠城道雄)
 鹿児島県内のモリング栽培における立枯病の原因究明と対策の検討 (2021-2023). 高槻電気工業株式会社, 共同研究. (代表: 遠城道雄)
 代謝刷り込みによる牛放牧肥育技術開発事業 (2021-2023). 公益財団法人全国競馬・畜産振興会, 日本中央競馬会畜産振興事業交付金. (分担: 大島一郎)
 タケノコ皮サイレージ給与が黒毛和種繁殖雌牛の繁殖性に及ぼす影響 (2022-2023). CRS 株式会社, 共同研究費. (代表: 大島一郎)
 かごしま伝統野菜と郷土の食文化の復活を実現させる食育教育プログラムの構築 (2022-2023). 科学研究費補助金胎仔期の栄養で変化するウシ骨格筋でのヒストン修飾の役割とは? (2022-2025) 科研費助成事業 (学研基金助成金) (分担: 大島一郎)
 農学部教育研究助成のため (2020-). アグリ Plus. 奨学寄附金. (遠城道雄)
 農学部教育研究助成のため (2020-). 仙波糖化工業株式会社. 奨学寄附金. (遠城道雄)

4 学会等活動

日本熱帯農業学会, 日本作物学会, 園芸学会, 日本農作業学会, 日本育種学会, 日本草地学会, 農業生産技術管理学会, 日本畜産学会, 日本暖地畜産学会, 日本家禽学会

5 遺伝資源の保存

農場は, わが国における温暖地, 亜熱帯, 熱帯植物及びトカラ馬, 口之島野生化牛などの希少動物の遺伝資源保存センターとしての機能を有する。各付帯施設で保有する遺伝資源は下記のとおりである。

1) 学内農事部

学内農事部では, 鹿児島県内に現存する在来種を約60品種保存している。

第25表 学内農事部で保存している野菜遺伝資源リスト

科名	品目名	学名	品種・系統名
ナス	ナス	<i>Solanum melongena</i> L.	伊敷長ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	縞ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白中ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白長ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	白丸ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	青丸ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	小窪ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	紫丸ナス
		<i>Solanum melongena</i> L.	真白ナス
ウリ	トウガラシ	<i>Capsicum annuum</i> L.	花岡コショウ
		<i>Capsicum annuum</i> L.	島コショウ
		<i>Cucumis sativus</i> L.	奄美ウリ
ウリ	キュウリ	<i>Cucumis sativus</i> L.	笠利地這
		<i>Cucurbita moschata</i> Duchesne ex Poir.	長トツツル
		<i>Cucumis melo</i> var. <i>makuwa</i>	甫立メロン
		<i>Cucumis melo</i> var. <i>makuwa</i>	マクワウリ
マメ	ダイズ	<i>Glycine max</i> (L.) Merr.	黒ウリ
		<i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp.	島ダイズ
		<i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp.	短莢
		<i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp.	中莢

		<i>Vigna unguiculata</i> (L.) Walp.	長莢
	エンドウ	<i>Pisum sativum</i> L.	雷エンドウ (上甑)
		<i>Pisum sativum</i> L.	雷エンドウ (鹿島)
		<i>Pisum sativum</i> L.	雷エンドウ (中甑)
	ソラマメ	<i>Vicia faba</i> L.	大島在来ソラマメ (奄美大島)
		<i>Vicia faba</i> L.	大島在来ソラマメ (喜界島)
ヒルガオ	サツマイモ	<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	シモン
		<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	種子島ゴールド
		<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	種子島ロマン
		<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	安納コガネ
		<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Lam.	安納紅
ゴマ	ゴマ	<i>Sesamum indicum</i> L.	白ゴマ
ヒガンバナ	ニンニク	<i>Allium sativum</i> L.	フル
		<i>Allium sativum</i> L.	請島
ショウガ	ショウガ	<i>Zingiber officinale</i> Rosc.	島ショウガ
アブラナ	ダイコン	<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	島
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	有良
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	佐仁
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	戸口
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	古志
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	小野津
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	松原田
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	山川
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	上別府
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	赤
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	田上
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	横川
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	国分
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	城内
		<i>Raphanus sativus</i> var. <i>hortensis</i>	永山
	カブ	<i>Brassica rapa</i> var. <i>rapa</i>	宝カブ
	タカナ	<i>Brassica juncea</i> var. <i>integrifolia</i>	コブタカナ
		<i>Brassica juncea</i> var. <i>integrifolia</i>	シマナ
セリ	ニンジン	<i>Daucus carota</i> subsp. <i>sativus</i>	吉野ニンジン (赤・黄)
		<i>Daucus carota</i> subsp. <i>sativus</i>	佐仁ニンジン (赤・黄)
アカザ	フダンソウ	<i>Beta vulgaris</i> var. <i>cicla</i>	フダンソウ

2) 唐湊果樹園

唐湊果樹園では、第26表に示すように、落葉果樹11種類50品種・系統、常緑果樹2種類134品種・系統、熱帯・亜熱帯果樹4種類21品種・系統を保存している。

第26表 唐湊果樹園で保存している果樹遺伝資源リスト

樹種名	学名または組み合わせ	品種・系統名
落葉果樹		
モモ	<i>Prunus persica</i> Sieb.	ちよひめ
	<i>Prunus persica</i> Sieb.	ひめこなつ
	<i>Prunus persica</i> Sieb.	はなよめ
スモモ	<i>Prunus</i> sp.	メスレー
	<i>Prunus</i> sp.	大石早生

アンズ	<i>Prunus</i> sp.	カラリ
	<i>Prunus armeniaca</i>	おひさまコット
	<i>Prunus armeniaca</i>	ニコニコット
ウメ	<i>Prunus mume</i> Sieb.	南高
	<i>Prunus mume</i> Sieb.	鶯宿
	<i>Prunus mume</i> Sieb.	竜峡小梅
ブドウ	<i>Vitis</i> sp.	キャンベル アーリー
	<i>Vitis</i> sp.	翠峰
	<i>Vitis</i> sp.	シャイン マスカット
	<i>Vitis</i> sp.	サンヴェルデ
カキ	<i>Diospyrus kaki</i> L.	平核無
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	富有
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	次郎
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	禅寺丸
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	太秋
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	新秋
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	西村早生
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	ロウヤ柿
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	常葉柿
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	刀根早生
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	大核無
	<i>Diospyrus kaki</i> L.	丹麗
ブルーベリー	<i>Vaccinium</i> sp.	ホームベル
	<i>Vaccinium</i> sp.	ウッタード
	<i>Vaccinium</i> sp.	ティフブルー
	<i>Vaccinium</i> sp.	クライマックス
	<i>Vaccinium</i> sp.	パールリバー
	<i>Vaccinium</i> sp.	オースチン
	<i>Vaccinium</i> sp.	ブライトウエル
	<i>Vaccinium</i> sp.	マグノリア
	<i>Vaccinium</i> sp.	ジャージー
	<i>Vaccinium</i> sp.	ブラッデン
	<i>Vaccinium</i> sp.	ジョージアジム
	<i>Vaccinium</i> sp.	オニール
	<i>Vaccinium</i> sp.	シャープブルー
	<i>Vaccinium</i> sp.	T100
クリ	<i>Castanea</i> Miller	筑波
	<i>Castanea</i> Miller	三原系
	<i>Castanea</i> Miller	丹沢
	<i>Castanea</i> Miller	ぼろたん
イチョウ (ギンナン)	<i>Ginkgo biloba</i> L.	藤九郎
	<i>Ginkgo biloba</i> L.	嶺南
	<i>Ginkgo biloba</i> L.	久寿
ザクロ		

クワ	<i>Punica granatum</i> L.	在来系
	<i>Morus</i> sp.	しだれぐわ
常緑果樹		
ビワ	<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	茂木
	<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	長崎早生
	<i>Eriobotrya japonica</i> Lindley	なつたより
カンキツ	<i>Citrus macroptera</i> Mont.	カブヤオ
	<i>C. hystrix</i> DC.	ブルット
	<i>C. latipes</i> (Swing.) Tan.	カシーパペダ
	<i>C. aurantifolia</i> (Christm.) Swing.	メキシカンライム
	<i>C. limettioides</i> Tan.	スイートライム
	<i>C. bergamia</i> Risso et Poit.	ベルガモット
	<i>C. latifolia</i>	タヒチライム
	<i>C. Montana</i> Tan.	ビロロ
	<i>C. excelsa</i> Wester	レモンリアル
	<i>C. medica</i> L.	ブッシュカン
	<i>C. medica</i> L.	マルブッシュカン
	<i>C. limon</i> (L.) Burm. f.	アレンユーレカ
	<i>C. limon</i>	ビアフランカ
	<i>C. limon</i>	イエローベル
	<i>C. limon</i>	璃の香
	<i>C. limetta</i> Risso	スイートレモン
	<i>C. balotina</i> Poit. et Turp.	バロチンベルガモット
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	安政柑
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩王柑
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	チャンドラー
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	はやさき
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	紅まどか
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	水晶文旦
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	晩白柚
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	麻豆紅柚
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	土佐文旦
	<i>C. grandis</i> (L.) Osb.	大橘
	<i>C. pseudogulgu</i> Hort. ex Shirai	ジャガタラユ
	<i>C. paradise</i> Macf.	マーシュ シードレス
	<i>C. paradise</i> Macf.	オロブランコ
	<i>C. paradise</i> Macf.	ルビー
	<i>C. hassaku</i> Hort. ex Tan.	農間紅ハッサク
	<i>C. medioglobosa</i> Hort. ex Tan.	ナルト
	<i>C. natsudaikai</i> Hayata	川野なつだいだい
	<i>C. natsudaikai</i> Hayata	紅甘夏
	<i>C. ampullaceal</i> Hort. ex Tan.	ヒョウカン
	<i>C. yamabuki</i> Hort. ex Y. Tanaka	ヤマブキ
	<i>C. kawachiensis</i> Hort. ex Y. Tanaka	カワチバンカン
	<i>C. aurantium</i> L.	カブス
	<i>C. aurantium</i> L.	回青橙
	<i>C. aurantium</i> L.	斑入りダイダイ
	<i>C. myrtifolia</i> Rafin.	キノット

<i>C. rokugatsu</i> Hort. ex Y. Tanaka	ロクガツミカン
<i>C. canaliculata</i> Hort. ex Y. Tanaka	キクダイダイ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ハムリン
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	トロビタ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	オリンダ バレンシア
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	タロッコ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	モロ
<i>C. sinensis</i> (L.) Osb.	ピラリマ
<i>C. tankan</i> Hayata	垂水1号
<i>C. tankan</i>	名護紅早生
<i>C. iyo</i> Hort. ex Tanaka	宮内伊予柑
清家ネーブル × クレメンティン	ありあけ
宮川早生 × トロビタオレンジ	清見
交雑親不詳のタンゴール	マーコット
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	ヒュウガナツ
<i>C. tamurana</i> Hort. ex Tanaka	オレンジ日向
<i>C. aurea</i> Hort. ex Tan.	カワバタミカン
<i>C. ichangensis</i> Swing.	イーチャンジェンシス
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	山根
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	ユズ
<i>C. junos</i> Sieb. ex Tan.	木頭ユズ
<i>C. hanaju</i> Hort. ex Shirai	ハナユ
<i>C. sudachi</i> Hort. ex Shirai	スタチ
<i>C. sudachi</i>	元寇
<i>C. spaerocarpa</i> Hort. ex Tan.	カボス
学名不明	平兵衛酢
<i>C. nobilis</i> Lour.	クネンボ
<i>C. nobilis</i> Lour.	トークニン
<i>C. unshiu</i> Marc.	原木(4代目)
<i>C. unshiu</i> Marc.	青島温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	寿太郎温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	白川温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	十万温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	石地温州
<i>C. unshiu</i> Marc.	大津4号
<i>C. unshiu</i> Marc.	興津早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	宮川早生
<i>C. unshiu</i> Marc.	かごしま早生
<i>C. keraji</i> Hort. ex Tan.	ケラジ
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	喜界ミカン
<i>C. keraji</i> var. Kabuchii Hort. ex Tanaka	ナツクニン
<i>C. oto</i> Hort. ex Y. Tanaka	オートー
<i>C. reticulata</i> Blanco	吉田ボンカン
<i>C. reticulata</i> Blanco	薩州
<i>C. deliciosa</i> Ten.	地中海マンダリン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ゲンショウカン
<i>C. genshokan</i> Hort. ex Tan.	ウスカワ
<i>C. tangerina</i> Hort. ex Tan	大紅ミカン
<i>C. clementina</i> Hort. ex Tan.	クレメンティン
<i>C. tachibana</i> (Mak.) Tan.	タチバナ
<i>C. kinokuni</i> Hort. ex Tan.	キノクニ

	<i>C. sunki</i> Hort. ex Tan.	スンキ
	<i>C. reshni</i> Hort. ex Tan.	クレオパトラ
	<i>C. depressa</i> Hayata	シイクワシャー
	<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン (甘)
	<i>C. depressa</i> Hayata	シークニン (辛)
	<i>C. leiocarpa</i> Hort. ex Tan.	コウジ
	<i>C. flaviculpus</i> Hort. ex Tanaka	キミカン
	<i>C. sp.</i>	コズ
	<i>C. sp.</i>	島みかん (黒島)
	キング × 地中海マンダリン	アンコール
	クレメンティン × ダンシータンゼリン	フォーチュン
	小西早生 × フェアチャイルド	サガマンダリン
	キング × ウンシュウミカン	カーラ
	三保早生 × クレメンティン	南香
	今村温州 × 中野3号ポンカン	早香
	クレメンティン × オーランド	ノバ
	ミネオラ × クレメンティン	ページ
	清見 × 中野3号ポンカン	陽香
	清見 × 中野3号ポンカン	不知火
	清見 × ポンカンF-2432	はるみ
	清見 × アンコール	あまか
	(清見 × 興津早生) × ページ	天草
	(清見 × アンコール) × マーコット	せとか
	清見 × 興津早生	津之香
	上田温州 × ハッサク	スイートスプリング
	ダンカングレープフルーツ × ダンシータンゼリン	ミネオラ
	津之望 × 育成系統 No.1408	みはや
	<i>C. madurensis</i> Lour.	シキキツ
	<i>C. sp.</i>	辺塚ダイダイ
	<i>C. sp.</i>	小林みかん
キンカン	<i>Fortunella hindsii</i> (Champ.) Swing.	キンズ
	<i>F. margarita</i> (Lour.) Swing.	ナガキンカン
	<i>F. japonica</i> (Thumb.) Swing.	マルキンカン
	<i>F. crassifolia</i> Swing.	ニンボウキンカン
	<i>F. obovata</i> Tan.	チョウジュキンカン
	<i>F. margarita</i> X <i>F. crassifolia</i>	ぶちまる
カラタチ	<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ルビドー
	<i>Poncirus trifoliata</i> (L.) Raf.	ヒリュウ

熱帯・亜熱帯果樹		
パッションフルーツ	<i>Passiflora edulis</i> × <i>P. edulis</i> P. Plavicarpa	サマークイーン
	<i>Passiflora edulis</i> × <i>P. edulis</i> P. Plavicarpa	ルビースター
	<i>Passiflora edulis</i>	アマミノジャンボウ
アセロラ	<i>Malpighia emergunata</i> DC.	フローロブランカ
	<i>Malpighia emergunata</i> DC.	フロリダスイート
アボカド	<i>Persea americana</i> Mill	フェルテ
	<i>Persea americana</i> Mill	エッディングー

	<i>Persea americana</i> Mill	ハス
	<i>Persea americana</i> Mill	グエン
	<i>Persea americana</i> Mill	リード
	<i>Persea americana</i> Mill	ベーコン
	<i>Persea americana</i> Mill	Lamb Has
	<i>Persea americana</i> Mill	ピンカートン
	<i>Persea americana</i> Mill	ズダーノ
リュウガン		
	<i>Euphoria longan</i> Stend	N93-6
	<i>Euphoria longan</i> Stend	カーラ
	<i>Euphoria longan</i> Stend	ハエウ
	<i>Euphoria longan</i> Stend	シーチョンブー
	<i>Euphoria longan</i> Stend	エワイ
	<i>Euphoria longan</i> Stend	ビオキウ
	<i>Euphoria longan</i> Stend	サキップ
	<i>Euphoria longan</i> Stend	タイウエン
	<i>Euphoria longan</i> Stend	フンカク

3) 指宿植物試験場

当場では1918年の設置以来、現在に至るまで、熱帯・亜熱帯植物の収集・保存を行い、教育研究に利用するとともに、地域への普及を行っている。これまで、マンゴー、パッションフルーツなどの熱帯果樹類や熱帯産ヤムイモなどが、南九州で特産化されている。

遺伝資源植物として保存している植物数は、品種や系統も含めると約600種類である。これらは、鉢や露地植えて保存されており、面積ベースでは、温室の60%、ビニールハウスの50%、圃場の25%である。単純計算であるが、教職員はこれら遺伝資源植物の維持、管理に全体の作業の45%程度の時間を割いていることになる。一方で、遺伝資源植物からの収入は、全体の15%程度である。

遺伝資源植物の保存、評価、利用なども附属農場の重要役割のひとつであるが、教職員数と比較した場合の労力や予算的な面からもほぼ限界の状況である。とくに果樹類などは実生系など品種が明確でないものも多く、それらは、結実が見られないものも多い。地域農業への貢献のためにも、明確な品種と生産性の可能性がある熱帯・亜熱帯果樹類への切り替えを進めている。

第27表 指宿植物試験場で保存している主な植物遺伝資源リスト

科名	和名	学名	品 種
アオイ科	ピンポンノキ	<i>Sterculia nobilis</i> Sm.	マダムフランシス
	カカオ	<i>Theobroma cacao</i> Linn.	
アカテツ科	サボジラ	<i>Achras zapota</i> L.	
	クダモノタマゴ	<i>Lucuma nervosa</i> A.D.C.	
	ミラクルベリー	<i>Synsepalum dulcificum</i> Daniell	
	アビウ	<i>Pouteria caimito</i> Radlk.	白綿綿
	カニステル	<i>Pouteria campechiana</i> (H.B.K) Baehni	
	スイショウガキ	<i>Chrysophyllum cainito</i> Linn.	
アカネ科	イクソラ・ダフィー	<i>Ixora duffii</i> T.Moore	
	コーヒーノキ	<i>Coffea</i> spp.	
イネ科	レモングラス	<i>Cymbopogon citratus</i> (DC.) Stapf	
	ズコナリヒラ	<i>Sinobambusa tootsik</i> Makino f. <i>albostrata</i> Muroi	
	ベチバー	<i>Vetiveria zizanioides</i> (L.) Roberty	
イイギリ科			

イラクサ科	ラブリーアップル	<i>Dovyalis abyssinica</i> Warb.	
	ペリオニア	<i>Pellionia</i> spp.	
	アサバソウ	<i>Pilea cadierei</i> Gagnep. et Guillaum.	
ウコギ科	ホンコンカボック	<i>Schefflera arboricola</i> (Hayata) Hayata ex Kaneh.	
ウラボシ科	コウモリラン	<i>Platyserium bifurcatum</i> (Cav.) C. Chr.	
ウルシ科	マンゴー	<i>Mangifera indica</i> L.	アーウィン
		<i>Mangifera indica</i> L.	リペンス
		<i>Mangifera indica</i> L.	タハール
		<i>Mangifera indica</i> L.	マダムフランシス
		<i>Mangifera indica</i> L.	ケント
		<i>Mangifera indica</i> L.	トルベット
		<i>Mangifera indica</i> L.	エドワード
		<i>Mangifera indica</i> L.	ケンジントンプライド
		<i>Mangifera indica</i> L.	ラッド
		<i>Mangifera indica</i> L.	バンダイク
		<i>Mangifera indica</i> L.	メラウィン
		<i>Mangifera indica</i> L.	ドット
		<i>Mangifera indica</i> L.	コム
		<i>Mangifera indica</i> L.	トミーアトキンス
		<i>Mangifera indica</i> L.	グレン
		<i>Mangifera indica</i> L.	バレンシアプライド
		<i>Mangifera indica</i> L.	マグジャミン
		<i>Mangifera indica</i> L.	スピリット オブ 76
		<i>Mangifera indica</i> L.	フロリゴン
		<i>Mangifera indica</i> L.	フロリジェン
		<i>Mangifera indica</i> L.	ラボザ
		<i>Mangifera indica</i> L.	リリー
		<i>Mangifera indica</i> L.	ランセティーラ
		<i>Mangifera indica</i> L.	ゴウベイヤ
		<i>Mangifera indica</i> L.	ST マウイ
		<i>Mangifera indica</i> L.	ニールキラン
		<i>Mangifera indica</i> L.	ハッチャー
		<i>Mangifera indica</i> L.	ジレイト
		<i>Mangifera indica</i> L.	R2E2
		<i>Mangifera indica</i> L.	ホワイトビリー
		<i>Mangifera indica</i> L.	ナムドクマイ
		<i>Mangifera indica</i> L.	ルビー
		<i>Mangifera indica</i> L.	レイト
		<i>Mangifera indica</i> L.	ベリーーズマルベル
		<i>Mangifera indica</i> L.	スプリングフェルス
		<i>Mangifera indica</i> L.	ゴールデンリペンス
		<i>Mangifera indica</i> L.	ジル
		<i>Mangifera indica</i> L.	キーツ
		<i>Mangifera indica</i> L.	チョコナン
		<i>Mangifera indica</i> L.	KEOJAE
		<i>Mangifera indica</i> L.	キョサワイ
		<i>Mangifera indica</i> L.	マハチャノク

	<i>Mangifera indica</i> L.	アルフォンソ	
	<i>Mangifera indica</i> L.	ニーラム	
	<i>Mangifera indica</i> L.	ケサー	
	<i>Mangifera indica</i> L.	蜜煌	
	<i>Mangifera indica</i> L.	蘋果文	
	<i>Mangifera indica</i> L.	貴妃	
	<i>Mangifera indica</i> L.	慢愛文	
	<i>Mangifera indica</i> L.	杉林	
	<i>Mangifera indica</i> L.	台農二號	
	<i>Mangifera indica</i> L.	紅金煌	
	<i>Mangifera indica</i> L.	黒香	
	<i>Mangifera indica</i> L.	玉文	
	<i>Mangifera indica</i> L.	紅象牙	
	<i>Mangifera indica</i> L.	纈中	
	<i>Mangifera indica</i> L.	紅龍	
	<i>Mangifera indica</i> L.	玉文6号	
	<i>Mangifera indica</i> L.	金一	
	<i>Mangifera indica</i> L.	農民黨 1 號	
	<i>Mangifera indica</i> L.	紅凱特	
	<i>Mangifera indica</i> L.	海嶼	
	<i>Mangifera indica</i> L.	世界一	
	<i>Mangifera indica</i> L.	ハナミツ	
	<i>Mangifera indica</i> L.	メキシコカラバオ	
	<i>Mangifera indica</i> L.	キンコウ	
	<i>Mangifera indica</i> L.	キンミツ	
オシロイバナ科			
	ブーゲンビレア	<i>Bougainvillea</i> spp.	
オトギリソウ科			
	マンゴスチン	<i>Garcinia mangostana</i> L.	
ガガイモ科			
	スタペリア	<i>Stapelia</i> spp.	
カキノキ科			
	ブラックサポテ	<i>Diospyros nigra</i> Blanco	
カタバミ科			
	スターフルーツ	<i>Averrhoa carambola</i> L.	シルク
		<i>Averrhoa carambola</i> L.	指宿スター
		<i>Averrhoa carambola</i> L.	カリイ
		<i>Averrhoa carambola</i> L.	カイラ
		<i>Averrhoa carambola</i> L.	ハノイ
		<i>Averrhoa carambola</i> L.	大王
		<i>Averrhoa carambola</i> L.	ビーナス
		<i>Averrhoa carambola</i> L.	ベル
		<i>Averrhoa carambola</i> L.	Thai
		<i>Averrhoa carambola</i> L.	Bintan
		<i>Averrhoa carambola</i> L.	Momoreia
	ナガバノゴレンシ	<i>Averrhoa bilimbi</i> Linn.	
カヤツリグサ科			
	カミガヤツリ	<i>Cyperus papyrus</i> L.	
キク科			
	スイゼンジナ	<i>Gymura bicolor</i> DC.	
キツネノマゴ科			

	ルリハナガサ	<i>Eranthemum pulchellum</i> Andr.	
	アトロプルプレウム	<i>Pseuderanthemum atropurpureum</i> (Bull.) L. H. Bailey	
	コダチヤハズカズラ	<i>Tunbergia erecta</i> (Benth.) T. Anderson	
	ベンガルヤハズカズラ	<i>Tunbergia grandiflora</i> (Rosb. ex Rottl.) Rpxb.	
キョウチクトウ科			
	アデニウム	<i>Adenium</i> spp.	
	オオバナアリアケカズラ	<i>Allamanda cathartica</i> L.	
	ヒメアリアケカズラ	<i>Allamanda nerifolia</i> Hook.	
	セイヨウキョウチクトウ	<i>Nerium oleander</i> L.	
	キバナキョウチクトウ	<i>Thevetia peruviana</i> (Pers.) K. Schum.	
	インドソケイ	<i>Jasminum grandiflorum</i> Linn.	
	プルメリア	<i>Plumeria</i>	
キントラノオ科			
	アセロラ	<i>Malpigia glabra</i> L.	Hawaiian Sweet
		<i>Malpigia glabra</i> L.	Hawaiian Queen
		<i>Malpigia glabra</i> L.	Florida Sweet
		<i>Malpigia glabra</i> L.	Maunawilli
		<i>Malpigia glabra</i> L.	Rehnborg
		<i>Malpigia glabra</i> L.	Red Jumbo
		<i>Malpigia glabra</i> L.	Tropical Ruby
		<i>Malpigia glabra</i> L.	F.Haley
		<i>Malpigia</i> sp.	つる性
	ヒイラギトラノオ	<i>Malpigia coccigera</i> L.	
	アメイシア	<i>Bunchosia armeniaca</i> (Cav.) DC	
クスノキ科			
	アボガド	<i>Persea americana</i> Milll.	メキシコーラ
		<i>Persea americana</i> Milll.	チョコケテ
		<i>Persea americana</i> Milll.	サンミゲル
		<i>Persea americana</i> Milll.	シモンズ
		<i>Persea americana</i> Milll.	ラムハス
		<i>Persea americana</i> Milll.	カビラキイロ
		<i>Persea americana</i> Milll.	グエン
		<i>Persea americana</i> Milll.	ウィンターメキシカン
		<i>Persea americana</i> Milll.	グリーンゴールド
		<i>Persea americana</i> Milll.	ピンカートン
		<i>Persea americana</i> Milll.	ロレッタ
		<i>Persea americana</i> Milll.	マラマ
		<i>Persea americana</i> Milll.	ミゲル
		<i>Persea americana</i> Milll.	ヤマガタ
		<i>Persea americana</i> Milll.	カハルー
		<i>Persea americana</i> Milll.	ベーコン
		<i>Persea americana</i> Milll.	フェルテ
		<i>Persea americana</i> Milll.	エッティンガー
		<i>Persea americana</i> Milll.	ズタノ
		<i>Persea americana</i> Milll.	ホアンホセ
		<i>Persea americana</i> Milll.	フルヌマ
		<i>Persea americana</i> Milll.	セルバ
		<i>Persea americana</i> Milll.	黒金
		<i>Persea americana</i> Milll.	九五
		<i>Persea americana</i> Milll.	加林1號
		<i>Persea americana</i> Milll.	紫フェルテ

	<i>Persea americana</i> Milll.	ミヤサコ B
	<i>Persea americana</i> Milll.	ミヤサコ2号
クマツヅラ科		
ハリマツリ	<i>Duranta repens</i> L.	
ペトレア	<i>Petrea vollubilis</i> L.	
クロウメモドキ科		
インドナツメ	<i>Zizyphus mauritiana</i> Lam.	蜜ナツメ
	<i>Zizyphus mauritiana</i> Lam.	雪蜜
ナツメ	<i>Zizyphus jujuba</i> var. <i>inermis</i>	
クワ科		
カンテンイタビ	<i>Ficus awkeotsang</i> Makino	
インドゴムノキ	<i>Ficus elastica</i> Roxb. ex Hornem.	
カシワバゴム	<i>Ficus lyrata</i> Warb.	
ガジュマル	<i>Ficus microcarpa</i> L. f.	
オオイタビ	<i>Ficus pumila</i> L.	
アコウ	<i>Ficus superba</i> Miq. var. <i>japonica</i> Miq.	
パンノキ	<i>Artocarpus altilis</i> Fosb.	
フィカスウンベラータ	<i>Ficus umbellata</i> Vahl.	
ゴマノハグサ科		
ハナチョウジ	<i>Russelia equisetiformis</i> Schlechtend et Cham.	
サトイモ科		
ヒトスジグサ	<i>Aglaonema costatum</i> N. E. Br.	
アグラオネマ	<i>Aglaonema</i> spp.	
クワズイモ	<i>Alocasia odora</i> K.Koch	
オオベニウチワ	<i>Anthurium andreanum</i> Linden corr. Andre	
サトイモ	<i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott	
ジャイアントスワンプラタロ	<i>Cyrtosperma chamissonis</i> (Schott) Merrill	
ホウライシヨウ	<i>Monstera deliciosa</i> Liebm.	
マドカズラ	<i>Monstera friedrichsthalii</i> Schott	
スパティフィラム	<i>Spathiphyllum</i> spp.	
サボテン科		
ドラゴンフルーツ	<i>Hylocereus undatus</i> (Haworth) D.R.Hunt	
シソ科		
クミスクチン	<i>Orthosiphon aristatus</i> (Blume) Miq.	
シノブ科		
タマシダ	<i>Nephrolepis cordifolia</i> (L.) K. Presl	
シヨウガ科		
ゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.)B.L.Burtt et R.M.Sm.	
キフゲットウ	<i>Alpinia zerumbet</i> (Pers.)B.L.Burtt et R.M.Sm. 'Variegata'	
フクジンソウ	<i>Costus speciosus</i> (J.Konig) Sm.	
キョウオウ	<i>Curcuma aromatica</i> Salisb.	
ウコン	<i>Curcuma longa</i> L.	
ガジュツ	<i>Curcuma zedoaria</i> (Christm) Roscoe	
スイカズラ科		
ゴモジュ	<i>Viburnum suspensum</i> Lindl.	
センダン科		
ランサット	<i>Lansium domesticum</i> Jack.	
タコノキ科		
アダン	<i>Pandanus tectorius</i> Soland.ex Balf.f.	
タデ科		
ハマベブドウ	<i>Coccoloba uvifera</i> (L.) L.	

ソテツ科	ナンヨウソテツ	<i>Cycas circinalis</i> L.	
	ソテツ	<i>Cycas revoluta</i> Thunb.	
ツツジ科	ケラマツツジ	<i>Rhododendron scabrum</i> G. Don	
ツユクサ科	ムラサキオモト	<i>Rhoeo spathacea</i> (Swartz) Stearn	
トウダイグサ科	クロトン	<i>Codiaeum variegatum</i> (L.) Blume	
	ハナキリン	<i>Euphorbia mili</i> Desmoul. var. <i>splendens</i> (Bojer ex Hook.) Ursch et Leandri	
	アオサンゴ	<i>Euphorbia tirucalli</i> L.	
	ナンヨウザクラ	<i>Jatropha integerrima</i> Jacq.	
	サンゴアブラギリ	<i>Jatropha podagrica</i> Hook.	
	セッカギンリュウ	<i>Pedilanthus tithymalodes</i> (L.) Poit.	
	ククイナツツ	<i>Aleurites moluccana</i> Wild.	
	タンポイ	<i>Baccaurea macrocarpa</i> (Miq.) Müll. Arg.	
トケイソウ科	ムラサキクダモノトケイソウ	<i>Passiflora edulis</i> Sims.	
	パッションフルーツ	<i>P. edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	サマークイーン
		<i>P. edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	ルビースター
		<i>P. edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	アマミノジャンボウ
		<i>P. edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	博芳
		<i>P. edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	キングルビー
		<i>P. edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	南十字星
		<i>P. edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	八重山黄色
		<i>P. edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	台湾黄色
		<i>P. edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	石垣キング
		<i>P. edulis</i> × <i>P. edulis</i> f. <i>flavicarpa</i>	Ma dois
	マリフォルミス	<i>Passiflora maliformis</i> L.	
	ミズレモン	<i>Passiflora laurifolia</i> L.	2 n
		<i>Passiflora laurifolia</i> L.	4 n
ナス科	ニオイバンマツリ	<i>Brunfelsia australis</i> Benth.	
ナンヨウスギ科	シマナンヨウスギ	<i>Araucaria heterophylla</i> (Salisb.) Franco	
ノウゼンカズラ科	ハリミノウゼン	<i>Clytostoma callistegioides</i> (Cham.) Bur.	
	ジャカラнда	<i>Jacaranda</i> sp.	
	イペ	<i>Tabebuia</i> sp.	
	ソーセージノキ	<i>Kigelia Africana</i> (Lam.) Benth	
パイナップル科	パイナップル	<i>Ananas comosus</i> (Linn.) Merr.	
	チランジア	<i>Tillandsia</i> spp.	
	サルオガセモドキ	<i>Tillandsia usneoides</i> (L.) L.	
バショウ科	バナナ	<i>Musa</i> spp.	
	ニコライ	<i>Strelitzia niccolai</i> Regel et Korn.	
	ゴクラクチョウカ	<i>Strelitzia reginae</i> Ait.	
	ユンケア	<i>Strelitzia reginae</i> var. <i>junceae</i> (Ker-Gawl.) H. E. Moore	
パパイヤ科	パパイヤ	<i>Carica papaya</i> Linn.	

バラ科	ヒメシャリンバイ	<i>Raphiolepis umbellata</i> (Thunb.) Makino var. <i>integerrima</i> (Hook. et Rehd)	
パンヤ科	パキラ	<i>Pachira aquatica</i> Aubl.	
	トックリキワタ	<i>Chorisia speciosa</i> (A.St.-Hil., A. Juss. et Cambess.) Ravenna	
	ドリアン	<i>Durio zibethinus</i> Murr.	
	バオバブノキ	<i>Adansonia digitata</i> Linn.	
バンレイシ科	チェリモヤ	<i>Annona cherimola</i> Mill.	
	アテモヤ	<i>Annona atemoya</i> Hort.	
	イランイラン	<i>Cananga odorata</i> (Lam.) Hook.f. & Thomson	
ヒガンバナ科	クンシラン	<i>Clivia miniata</i> Regel	
	ハマオモト	<i>Crinum asiaticum</i> L. var. <i>japonicum</i> Bak.	
ヒユ科	アルテルナンテラ	<i>Alternanthera ficoidea</i> (L.) R.Br.ex Roem. Et Schult.	
フトモモ科	キンポウジュ	<i>Callistemon speciosus</i> (Sims) DC.	
	ユーカリノキ	<i>Eucalyptus</i> spp.	
	ピタンガ	<i>Eugenia michelii</i> Lam.	バーミリオン
		<i>Eugenia michelii</i> Lam.	ラバー
	フェイジョア	<i>Feijoa sellowiana</i> O. Berg.	
	メラレウカ	<i>Melaleuca</i> spp.	
	ギンバイカ	<i>Myrtus communis</i> L.	
	テリハバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab.	
	キミノバンジロウ	<i>Psidium cattleianum</i> Sab. var. <i>lucidum</i> hort.	
	グァバ	<i>Psidium guajava</i> L.	
	レンブ	<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	黒金剛
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	黒珍珠
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	香水
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	ジャワ
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	チトラ
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	天霸王
		<i>Syzygium samarangense</i> (Bl.) Merr. & L.M.perry	飛弾
	ミズレンブ	<i>Syzygium aqueum</i> Alston	
	フトモモ	<i>Syzygium jambos</i> (L.) Alston	
	ジャボチカバ	<i>Myracia couliflora</i> O.Berg	
	グルミチャマ	<i>Syzygium dombeyi</i> Skeels	
ベンケイソウ科	カゲツ	<i>Crassula portulaca</i> Lam.	
	カランコエ	<i>Kalanchoe blossfeldiana</i> Poelln.	
ホルトノキ科	ナンヨウザクラ	<i>Muntingia calabura</i> Linn.	
マメ科	ソウシジュ	<i>Acacia confusa</i> Merrill	
	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.	
	バウヒニア	<i>Bauhinia</i> spp.	
	カリアンドラ	<i>Calliandra</i> spp.	
	コバノセンナ	<i>Cassia coluteoides</i> Collad.	
	ナンバンサイカチ	<i>Cassia fistula</i> L.	
	サンゴシトウ	<i>Erythrina ×bidwillii</i> Lindl.	

	アメリカデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L.	
	マルバデイコ	<i>Erythrina crista-galli</i> L. 'Maruba-Deiko'	
	ヒスイカズラ	<i>Strongylodon macrobotrys</i> A. Gray	
	タマリンド	<i>Tamarindus indica</i> Linn.	
	モンキーフラワーツリー	<i>Phyllocarpus septentrionalis</i> Donn. Sm.	
ミカン科	シロサボテ	<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	EdgeHill
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Rinchard
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Fournoy
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	white
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Yellow
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Vista
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Columbia
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Malibu
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	MaxGolden
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Fallbrook
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Kagi
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Ortege
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Selck
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Candy
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	Rixford
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	マーブル
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	ミシエル
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	ライニキコマーシャル
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	バーノン
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	スマザーズ
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	スーベル
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	パイク
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	スナイダー
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	クシオ
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	チェストナット
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	チャールズアーリー
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	ゴールドングローブ
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	グエン
		<i>Casimiroa edulis</i> La Llave and Lex.	モルツビー
	フィンガーライム	<i>Citrus australasica</i> F. Muell.	Mia Rose
		<i>Citrus australasica</i> F. Muell.	Red Sparkling
	ワンピ	<i>Clausena lansium</i> (Laur.) Skeels	
ミソハギ科	メキシコハナヤナギ	<i>Cuphea hyssopifolia</i> H. B. K.	
	ハナヤナギ	<i>Cuphea micropetala</i> H. B. K.	
ムクロジ科	リュウガン	<i>Euphoria longan</i> Lam.	潤蒂
		<i>Euphoria longan</i> Lam.	福眼
		<i>Euphoria longan</i> Lam.	粉珍
		<i>Euphoria longan</i> Lam.	粉殻
		<i>Euphoria longan</i> Lam.	菱角
		<i>Euphoria longan</i> Lam.	タイウエン
		<i>Euphoria longan</i> Lam.	サキツブ
		<i>Euphoria longan</i> Lam.	itoh
		<i>Euphoria longan</i> Lam.	puanglay

	<i>Euphoria longan</i> Lam.	ponyai
	<i>Euphoria longan</i> Lam.	Daiamond river
ライチ	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	玉荷包
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	黒葉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	桂味
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	糯米滋
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	大丁香
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	翠玉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	玫瑰紅
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	皇帝
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	小葉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	中葉
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	篤姫
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	佐多在来
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	船乗り
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	San poaw coew
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	チャカパッド
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	クエイメイピンク
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	サラシエル
	<i>Litchi chinensis</i> Sonn.	クエイメイ
ランブータン	<i>Nephelium lappaceum</i> Linn.	
モクセイ科		
シマトネリコ	<i>Fraxinus griffithii</i> C.B. Clarke	
ハゴロモジャスミン	<i>Jasminum polyanthum</i> Franch.	
モクマオウ科		
モクマオウ	<i>Casuarina stricta</i> Ait.	
ヤシ科		
アカントフィラ	<i>Aiphanes acanthophylla</i> (Mart.) Burret	
ユスラヤシ	<i>Archontophoenix alexandrae</i> (F.J. Muell.) H. Wendl. et Drude	
ピンロウジュ	<i>Areca catechu</i> L.	
ジョオウヤシ	<i>Arecastrum romanzoffianum</i> (Cham.) Becc.	
サトウヤシ	<i>Arenga pinnata</i> (Wurmb) Merrill	
クログ	<i>Arenga tremula</i> (Blanco) Becc. var. <i>engleri</i> (Becc.) Hatus.	
ボンネッティ	<i>Butia bonnetii</i> (Becc.) Becc.	
ブラジルヤシ	<i>Butia capitata</i> (Mart.) Becc.	
クジャクヤシ	<i>Caryota mitis</i> Lour.	
チャボトウジュロ	<i>Chamaerops humilis</i> L.	
アレカヤシ	<i>Chrysalidocarpus lutescens</i> H. Wendle.	
デュシアナ	<i>Coccothrinax dussiana</i> L. H. Bailey	
ココヤシ	<i>Cocos nucifera</i> L.	
テーブルヤシ	<i>Collinia elegans</i> (Mart.) Liebm. ex Oerst.	
シロロウヤシ	<i>Copernicia alba</i> Morong	
ヒメショウジョウヤシ	<i>Cyrtostachys lakka</i> Becc.	
ベガニー	<i>Drymophloeus beguinii</i> (Burret) H. E. Moore	
ケンチャヤシ	<i>Howea belmoreana</i> (C. Moore et F.J. Muell.) Becc.	
ヒロハケンチャヤシ	<i>Howea forsteriana</i> (C. Moore et F.J. Muell.) Becc.	
マルハウチワヤシ	<i>Licuala grandis</i> H. Wendl.	
シナピロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R.Br.ex Mart.	
ピロウヤシ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.) R. Br. ex Mart. var. <i>subglobosa</i> (Hassk.)	
オガサワラピロウ	<i>Livistona chinensis</i> (Jacq.)R. Br. ex Mart var. <i>boninensis</i> Becc.	
トックリヤシ	<i>Mascarena lagenicaulis</i> L. H. Bailey	

トックリヤシモドキ	<i>Mascarena verschaffeltii</i> (H. Wendl.) L. H. Bailey	
ヴェデリアヌム	<i>Microcoelum weddellianum</i> (H. Wendl.) H. E. Moore	
ミツヤヤシ	<i>Neodypsis decaryi</i> Jumelle	
キリンヤシ	<i>Phoenicophorium borsigianum</i> (K. Koch) Stuntz	
カナリーヤシ	<i>Phoenix canariensis</i> hort. ex Chabaud	
ナツメヤシ	<i>Phoenix dactylifera</i> L.	
カブダチソテツジュロ	<i>Phoenix reclinata</i> Jacq.	
シンノウヤシ	<i>Phoenix roebelenii</i> O'Brien	
サトウナツメヤシ	<i>Phoenix sylvestris</i> (L.) Roxb.	
ヒメヤハズヤシ	<i>Ptychosperma elegans</i> (R.Br.) Blume	
シュロチクヤシ	<i>Ptychosperma macarthurii</i> (H. Wendl.) Nichols.	
カンノンチク	<i>Rhapis excelsa</i> (Thunb.) A. Henry	
シュロチク	<i>Rhapis humilis</i> Blume	
フロリダダイオウヤシ	<i>Roystonea elata</i> (Bartr.) F. Harper	
サバルヤシ	<i>Sabal</i> spp.	
ヤエヤマヤシ	<i>Satakentia liukuensis</i> (Hatsu.) H. E. Moore	
コバナクマデヤシ	<i>Thrinax parviflora</i> Swartz	
マニラヤシ	<i>Veitchia merrillii</i> (Becc.) H. E. Moore	
ウイニン	<i>Veitchia winin</i> H. E. Moore	
タケウマキリンヤシ	<i>Verschaffeltia splendida</i> H. Wendl.	
オキナヤシ	<i>Washingtonia filifera</i> (Linden ex Andre) H. Wendl.	
オキナヤシモドキ	<i>Washingtonia robusta</i> H. Wendl.	
ヤマノイモ科		
イエローギニアヤム	<i>Dioscorea cayenensis</i> Lam.	
トゲドコロ	<i>Dioscorea esculenta</i> (Lour) Burk.	
ダイジョ	<i>Disocorea alata</i> L.	
ヤマモガシ科		
マカダミア	<i>Macadamia integrifolia</i> Maiden et Betche	クーパー
ステノカーパス	<i>Stenocarpus sinuatus</i> (Loudon) Endl.	
ヤマゴボウ科		
オンブー	<i>Phytolacca dioica</i> L.	
ユキノシタ科		
サラサウツギ	<i>Deutzia crenata</i> Sieb. et Zucc. f. plena (Maxim.) C.K. Schneid.	
ユリ科		
キダチアロエ	<i>Aloe arborescens</i> Mill.	
アロエ	<i>Aloe</i> spp.	
ハラン	<i>Aspidistra elatior</i> Blume	
オリズラン	<i>Chlorophytum comosum</i> (Thunb.) Jacques	
十二の巻	<i>Haworthia fasciata</i> (Willd.) Haw.	
ソキアリス	<i>Ledebouria socialis</i> (Bak.) Jessop	
ラン科		
ハウサイラン	<i>Cymbidium sinense</i> (Andr.) Willd.	
オンシジューム	<i>Oncidium</i> spp.	
バニラ	<i>Vanilla planifolia</i> G.Jacks. <i>Vanilla albida</i> Blume	
トックリラン	<i>Beaucarnea recurvate</i> Lem.	
リュウゼツラン科		
リュウゼツラン	<i>Agave</i> spp.	
センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth	
センネンボク	<i>Cordyline terminalis</i> (L.) Kunth	
ベニフクリンセンネンボク	<i>Doracaena concinna</i> Kunth	

シロシマセンネンボク	<i>Doracaena deremensis</i> Engl.
ギンヨウセンネンボク	<i>Doracaena sanderiana</i> hort. Sander ex M.T.Mast.
レフレクサ	<i>Dracaena reflexa</i> Lam.
ハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain ‘Hahnii’
トラノオ	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain ‘Laurentii’
ゴールドデンハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain ‘Golden Hahnii’
シルバーハーニー	<i>Sansevieria trifasciata</i> Prain ‘Silver Hahnii’
ワサビノキ科	
モリンガ	<i>Moringa oleifera</i> Lamarck

4) 入来牧場

・トカラ馬 (*Equus caballus*)

日本に現存する8種類の在来馬の一つで、1953年9月に鹿兒島県の文化財として天然記念物に指定されている。トカラ馬は完全な野生化状態で導入されており、頭数維持は自然交配自然分娩によって行われている。平成27年3月に加えて、平成28年11月に馬伝染性貧血検査のため全頭採血を実施し、全頭頸部皮下に個体識別チップを埋め込んでいる。鹿兒島大学附属農場入来牧場では、現在、推計18頭のトカラ馬を保有している。

・口之島野生化牛 (*Bos Taurus*)

日本に現存する2種類の在来牛の一つで、鹿兒島県十島村に生息している。口之島野生化牛は絶滅の危機に瀕しているため、鹿兒島大学において保護と増殖のための取り組みを行っている。近年では、令和元年に受精卵産子雌1頭、令和2年9月に受精卵産子雄1頭、令和4年7月に雄1頭を得ている。今後も慎重に飼養管理を行い、新たな産子の確保に努めていきたい。鹿兒島大学農学部附属農場では、現在6頭を保有し、保護している。